



日本唯一の妊産婦支援施設

# 行き場のない妊産婦を 支援する施設から

講師 細金 和子さん

(婦人保護施設慈愛寮施設長)

実の親から深刻な虐待を受けるというショッキングな事件があとを絶たない昨今ですが、児童虐待の発生件数を年齢別に調査すると、0歳0か月が最も多いという現実があります。自分で産んだ子をなぜ育てないのか、と思われるかもしれませんが、そこに至る過程で既に深刻な経緯があるのです。

この度、慈愛寮の施設長、細金和子さんからお話を伺う機会を設けました。ぜひお聴きください。

日時：2014年11月8日(土) 午後1:30~3:30

(受付 午後1:00~)

会場：まちなかキャンパス301

対象：テーマに関心のある方はどなたでも。

参加費：500円(要申込み・裏面参照)



## 講師プロフィール

細金 和子 (ほそがね かずこ)

婦人保護施設慈愛寮施設長／保育所保育士・東京都女性相談センター電話相談員・母子生活支援施設母子支援員・慈愛寮支援員等を経て2006年度より現職。(慈愛寮については、裏面をご覧ください。)

主催：矯風会長岡／長岡市

東京にある社会福祉法人慈愛会慈愛寮は、様々な事情で産前産後の時をひとりで迎えることになった妊産婦が安心して出産・育児ができるよう支援する施設です。

「ひとりで」ということは、胎児・新生児の父親はもとより親族も支え手とはなり得ない状況を意味します。親からの虐待から逃れて家出し、風俗営業の店に勤め、妊娠を理由に寮を出された人、同棲相手が行方不明になりアパート代も払えなくなった人、未受診のまま「飛び込み出産」となり、出産後、慈愛寮に入所という母子も少なくないそうです。

「飛び込み出産」はこの長岡市でも増えています。新潟には弁護士が中心になり、「こどもシェルター」の開設が準備されています。若年妊娠に対する電話相談も開設されました。が、妊産婦のみを支援する施設は全国でもこの慈愛寮ただひとつです。

入所した母子の出産前後のお世話をし、次の生活の方向が定まるまで、数か月の生活と育児の支援を行っている慈愛寮の活動を、寮長の細金和子さんからお聞きできる機会を得ました。どうか多くの方々にお聞きいただき、妊産婦の支援と0歳0か月の虐待をいかにして防ぐことができるか、ともに考えたいと思います。

## ■慈愛寮では

出産前後の不安な時期を、支援員・看護師・保育士・心理職・栄養士・調理員・嘱託医など、専門スタッフがサポートします。

また、退所後も、引き続き育児や生活について支援しています。

きょうふうかい

## ■矯風会長岡とは

女性の視点に立って、全ての人々の人権と平和を守り、困難な状況にある人々、特に女性と子供への支援につとめ、社会全般の福祉の増進に寄与することを目的として、この春、長岡に発足した女性の会です。男性も賛助会員として歓迎します。

## <お申込み・お問合せ>

長岡市 男女平等推進センター

長岡市大手通 2-2-6 (ながおか市民センター2階)

# ウィルながおか

電話 0258-39-2746

Fax 0258-39-2747

■お申込みは、「ウィルながおか」へ電話またはFax でお願ひします。(締切:11月1日)

講演会申込書 (Faxの方は、以下をご記入の上、この面をそのまま送信してください)

| お名前 | 連絡先電話番号 | お住まいの市町村 |
|-----|---------|----------|
|     |         | 市        |
|     |         | 市        |
|     |         | 市        |

## <会場のご案内>

